マットシステムを用いた各郡市大会開催までの流れ

県大会と同じ種目で開催する場合のみ有効

独自形式の場合は、ご相談ください

# １．郡市大会用ファイルを各学校に送信して、必要事項を記入してもらう。

テーブル が含まれている画像

自動的に生成された説明

学校NO、郡市NO,学校電話番号、担当者名、担当者メールアドレス、担当者電話番号を記入（以下、記入が必要なところはすべて黄色のセルになっています）

名前入力時に、いわゆる外字を使ってしまうと表記がバグるのでご注意ください。



漢字指名、読み仮名（半角カタカナで！）、学年、性別、種目、記録を入力。

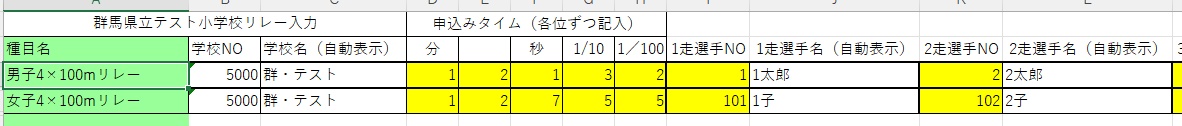
走り幅跳びなど、長さや高さの記録を記入する場合は、

｜分｜　｜秒｜　｜　｜

｜０｜０｜４｜１｜５｜　←４ｍ１５ｃｍの場合

という具合に入力してください。

リレーのみの場合は、タイムを入力する必要はありません。



リレーの入力をします。選手NOを入力すれば、学校名などは自動で表示されます。

各校の先生に入力してもらうのは、以上です。

２．CSVファイルにまとめる

ダイアグラム

自動的に生成された説明

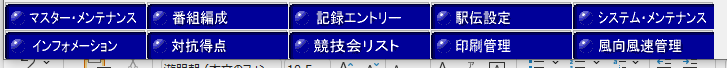
rikujou-syori(VER2).xlsm　を起動します。

風船をクリックすれば、各校から提出してもらったファイルをまとめることができます。

ついでに、まとめたCSVファイルが出力されます。

# ３．マットシステムに取り込む

## まず、マットシステムを県大会種目にリストアします。



システム・メンテナンスをクリック

グラフィカル ユーザー インターフェイス, アプリケーション

自動的に生成された説明

パスワードの入力を求められるので、「z\x/c.」を入力します。（キーボードの一番下の段にある「つ、ろ、さ、め、そ、る」のキーです。）

テキスト

自動的に生成された説明

データのリストアをクリック

テキスト, 手紙

自動的に生成された説明

形式を　LZH形式に

新規・後秦を新規に

単一LZH　にチェック

参照をクリック

ファイルの選択画面になるので、県HPからDLしたR6-gunsi-junbi.lzhを選択する。

グラフィカル ユーザー インターフェイス, テキスト

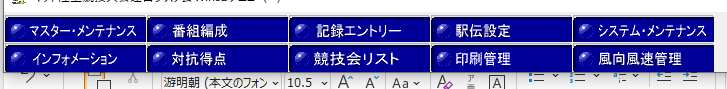
自動的に生成された説明

実行ボタンをクリック

何か文字列が動き出すので、眺める。

終わったら、終了をクリック。

## 大会の初期設定をします。



マスターメンテナンスをクリック

テキスト

自動的に生成された説明

DINST大開初期設定をクリック

テキスト, メール

自動的に生成された説明

大会名や会場などをそれぞれの郡市の大会に変える

グラフィカル ユーザー インターフェイス, アプリケーション

自動的に生成された説明

日程は「その他」のタブにあります。

グラフィカル ユーザー インターフェイス, テキスト, アプリケーション

自動的に生成された説明初期設定が終わったら、下の方にある設定完了ボタンをクリック

## 選手登録をします

テキスト が含まれている画像

自動的に生成された説明

競技者マスターをクリック

グラフィカル ユーザー インターフェイス, テキスト, アプリケーション

自動的に生成された説明ファイル→インポート→CSVファイルをクリック

テキスト が含まれている画像

自動的に生成された説明

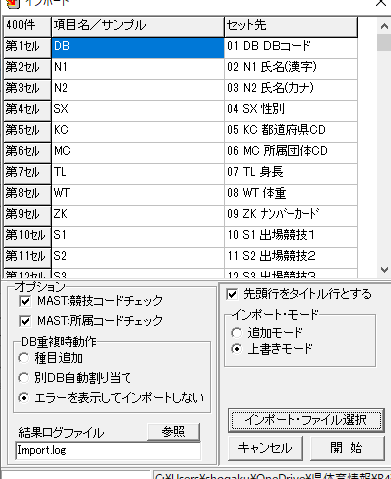
設定はいじらず、

インポートファイル選択をクリック

グラフィカル ユーザー インターフェイス, テキスト, アプリケーション

中程度の精度で自動的に生成された説明

「kojin」を選択



なんだかいろいろ出てきますが、

開始をクリック

グラフィカル ユーザー インターフェイス, テキスト

自動的に生成された説明

エラーが出なければOK

グラフィカル ユーザー インターフェイス, テキスト, アプリケーション

自動的に生成された説明

競技者マスターで

編集→ナンバーカード更新　をクリック

編集→エントリー更新→新規モード　をクリック

これで選手登録は完了です。

## リレーの登録をします。

グラフィカル ユーザー インターフェイス, アプリケーション

自動的に生成された説明

マスターメンテナンスをクリック

アプリケーション

中程度の精度で自動的に生成された説明

リレーエントリーをクリック

カレンダー が含まれている画像

自動的に生成された説明

男子か女子を選択して、OKボタンをクリック

グラフィカル ユーザー インターフェイス, アプリケーション, テーブル

自動的に生成された説明

ファイル→インポート→CSVファイルをクリック

グラフィカル ユーザー インターフェイス, テキスト, アプリケーション

中程度の精度で自動的に生成された説明

男子なら「dansi」を女子なら「josi」を選択して、開くボタンをクリック

グラフィカル ユーザー インターフェイス, アプリケーション, テーブル, Excel

自動的に生成された説明

様子を見て大丈夫そうなら入力完了をクリック。

同様に女子も行う。

これでリレーは完了です。

## プログラム編集を行う

グラフィカル ユーザー インターフェイス, アプリケーション

中程度の精度で自動的に生成された説明

競技時刻一括設定をクリック

テーブル

低い精度で自動的に生成された説明

出場人数に合わせて、予選組数や決勝を入れていく。

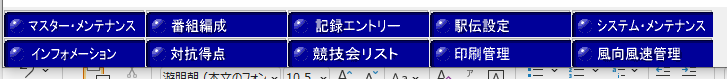
文字と写真のスクリーンショット

自動的に生成された説明

入力例です。



入力し終わったら、「更新実行→同期実行→保存→閉じる」の順にクリック



番組編成をクリック

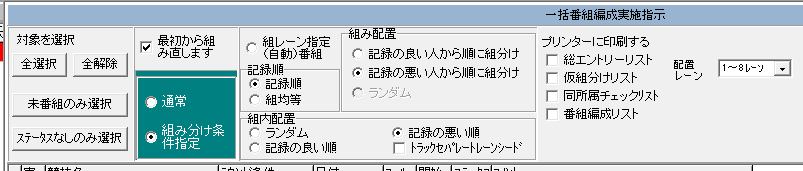
テキスト

自動的に生成された説明

番組編成をクリック



一括実施をクリック



①全選択 ②最初から組み直します

③組み分け条件指定 ④記録順

⑤記録の悪い人から順に組分け ⑥記録の悪い順

だいたいこんな感じで組めば、最終組に早い人たちが集まります。

細かい点は、手直しが必要です。

ともかく、これでプログラム編成は終了です。

## 確認作業

グラフィカル ユーザー インターフェイス, アプリケーション

自動的に生成された説明

印刷管理をクリック

テキスト

自動的に生成された説明版下作成システムをクリック

グラフィカル ユーザー インターフェイス, テキスト, アプリケーション, メール

自動的に生成された説明

編集→

全競技・継続印刷設定をクリック



全選択　プレビュー　でモニタ上で確認して、印刷をしましょう。

以上で、とりあえずの大会準備は完了です。

作業お疲れ様でした！

質問等は情報事務局の八木橋までどうぞ！

電話 前橋市立総社小学校　０２７－２５１－６６６２

メール gepra-joho@gepra7.ec-net.jp